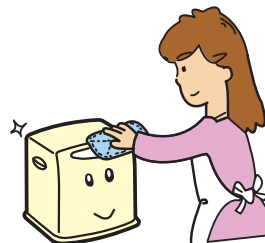
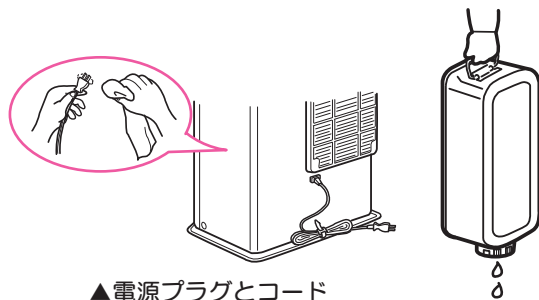
おしまいになる時のお手入れ

少しのお手入れで、ブルーヒーターの寿命がグンと違ってきます。シーズンの終わりにきちんとお手入れをして、来年もまた元気に働いてもらいましょう。

※お使いのファンヒーターが、イラストと異なる場合がありますが、手順は同じです。

1 電源プラグとコードのとりまとめ、カートリッジタンクの点検

プラグと電源コードの接続部などに痛みがないかを点検し、同時にホコリや汚れも落としておきましょう。それらが終わったら、箱にしまいやすくするため、コードを束ねましょう。

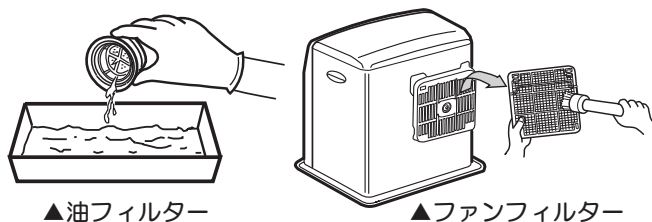
カートリッジタンクや口金は給油の際の持ち運びで変形している場合がありますので、確認しましょう。また、タンクを逆さまにした時に油漏れがないかを確認しましょう。

▲電源プラグとコード

▲カートリッジタンク

カートリッジタンク内と油受皿内の灯油の抜き取り

カートリッジタンクを抜き取り、灯油を空にします。次に、油フィルターを取り外し、油受皿内の灯油を市販の給油ポンプやスポイトなどで完全に抜ききりましょう。この作業を行わないと翌シーズンの使いはじめのトラブルの原因となります！

油フィルター、ファンフィルターの掃除

油フィルターには、ゴミや水がたまっていますので、きれいな灯油ですすぎ洗いを。ファンフィルターは取り外して、ゴミやホコリを掃除機で吸い取ってください。汚れがひどい場合は、水洗いなどもできると良いですね。

▲油フィルター

▲ファンフィルター

本体の汚れを拭き取る

柔らかい布でから拭きするか、うすめた中性洗剤をしみ込ませた布で本体を拭きます。本体をベンジン・シンナーなどで拭かないでください。

最後に

箱は捨てずに取ってありますか？

お手入れできれいになったブルーヒーターは、取扱説明書等の付属品と一緒にしまいます。保管場所には、乾燥したホコリのかからない場所を選びましょう。